



平成十八年（仏暦二五四九）
寒中お見舞い申しあげます



三寶寺寺報 第一九五号
二〇〇六年一月一日発行
発行人 目崎 薫（三寶寺住職）
伊勢原市沼目三 十一 二
TEL 0463 933 323
FAX 0463 933 545
購読料加金 年三〇〇〇円（年・送料込）
郵便振替口座 一〇二〇〇〇六一〇五八三二
〒259-1126

覚 bodhi ^{ほだい} 菩提・または道

1.肉体的に眠りから醒めること

1.人の精神が眠りから覚めること

それで、精神的に目覚めたるひと、仏陀 Buddha (budh+ta)

budhuの過去分詞のかたちで、budhは目覚める

一般に用いられている ほとけ という言葉は Buddha が日本流に訛ったかたちである。

仏陀は、この世のすべては無常であり、人生は苦であると言いたように、多くの人に思われているが、それはまちがいで、まだ目覚めない無明の意識には無常であり、苦があるようにみえるが、正覚の智が現れると無明の意識が消えるので、無常も苦も消え、常住・安楽の実相が見え、その人内から変わって法身の人になる。

印度哲学史 P 97 稲津紀三より

無明・無常は、生まれて死ぬ、はかなきいのち、苦しみの方が多い人生ときめつけたものであるが、仏陀の教えや、親鸞の和讃では、すべての苦しみから解きはなされて、執着心のない涅槃がこの心にあらわれてくる、と説いている。
三月春彼岸の意義、涅槃、苦悩の有情寂滅楽となる。

剣を持つる 鏡を持つて
顔はみにくさを
さらけだしてゐるぞ
鏡に向かふ

和顔受笑語を
日々新たに成長させん

三寶寺掲示板 一月

いま光が
とどいたのではない
光に
遇わなかつただけだ

It is not that the Light hasn't reached us up to now, it's merely that we haven't encountered it yet.